

スポーツ分野の現状と課題及び施策体系

現状と課題

①区民の意識と行動

- ・ 区民の週1日以上スポーツ実施率は54.9%。前回調査※2（38.4%）時より増加しています。
- ・ 過去1年間にスポーツを実施しなかった理由をみると、「仕事が忙しい」が35.8%と最も多く、次いで「家事・育児・介護などが忙しい」が25.9%となっています。
- ・ 障害者スポーツに「関心がある」が41.9%（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）となっており、東京都（59.2%）と比べて低くなっています。

②スポーツの楽しさを知る機会の創出

- ・ ライフステージ・スタイルに応じて、すべての人がスポーツの楽しさや価値を実感できる取り組みを進める必要があります。
- ・ 「見る」「支える」スポーツ環境のさらなる充実に向け、ボランティアへの区民参加の促進やスポーツ指導者の養成等を進めることにより、担い手の安定的な確保と技術向上や知識の深化が必要です。

③スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

- ・ 求める人に適切なタイミング、方法でスポーツに関する情報を提供する工夫が必要です。
- ・ 障害者スポーツ教室は、周知先を再考し、障害者スポーツに関心がある層に確実に情報を届ける必要があります。
- ・ 多様なライフスタイルに合わせ、いつでもどこでもスポーツに親しめるよう、動画の配信等も求められています。

④プロスポーツ等団体との連携・協力

- ・ 東京2020大会に向けて高まってきたスポーツへの関心が、一過性のものとならないよう、引き続き関係団体と協力し、障害者スポーツの普及や理解の促進等が必要です。
- ・ 区民がボランティア参加で培った「支える精神」や、ホストタウン事業を通じて深められた国際理解などもレガシーとして継承できるよう取り組んでいくことが必要です。

⑤スポーツを通じた交流の促進

- ・ 年齢や障害の有無等に関わらず、誰もがスポーツに親しめる機会を提供するとともに、世代間交流や地域間交流の促進と地域コミュニティの活性化に取り組んでいくことが必要です。
- ・ 共生社会の実現に向けて引き続き、大学や企業等の各競技団体と地域特性を活かした連携を促進するほか、障害者が自主的に取組める環境整備が必要です。
- ・ 障害者スポーツをユニバーサルスポーツへと昇華させるため、種目や魅力の紹介、体験機会の充実等、誰もが一緒に楽しめる機会の提供に取り組んでいくことが必要です。

⑥新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、ウィズコロナ、ポストコロナにおいて、年齢、障害の有無等に関わらず、誰もが安心してスポーツを楽しめる、新たな生活様式に即した受け入れ体制を整える必要があります。

⑦スポーツの力を活用した施策の展開

- ・ アカデミー推進計画の5つの分野の課題に対して、スポーツの力を活用し、分野間で連携し、横断的に取り組んでいく施策・事業の検討も必要です。

施策体系（案）

基本方針	施策（イメージ）
I. だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢、性別、国籍、障害の有無、ライフスタイルや興味・関心の度合い等に関わらず、だれもがスポーツを身近に感じ、「する」機会を拡充していきます。 ・ 「見る」スポーツを通して関心を持ち、楽しさを知るきっかけを充実していきます。 ・ 「支える」スポーツへの積極的な参加を促し、共に楽しむ機会を充実していきます。 	ア スポーツの楽しさを知る機会の創出 イ ユニバーサルスポーツの普及振興 ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充 エ スポーツボランティア等の活動支援
II. いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ だれもが利用しやすいスポーツ施設を目指す一方で、様々な場所で日常的にスポーツに触れ合うことができるよう、地域やコミュニティ単位でスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。 ・ 必要とする人に適切なタイミング、方法でスポーツに関する情報を提供していきます。 ・ 生涯にわたって心身ともに健康な状態でスポーツに親しむ人を適切にサポートできる指導者・団体の育成・技術強化に取り組めます。 	ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備 イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備 ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開 エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化 オ 心身の健康づくり
III. スポーツの力を活用した地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツによる心身の健康の保持・増進だけでなく、プロ・アマチュア問わず、各種競技団体や組織と組織、地域と地域の交流・連携・協働の促進を目指します。 ・ 区民一人ひとりが心身ともに豊かな生活を送ることができるよう、スポーツの力を活用した幅広い取組を充実していきます。 ・ スポーツに接する機会の少ない方や初心者にも積極的に機会を提供するほか、基礎体力の向上や子どもの運動能力向上、加齢に伴う健康づくりの習慣化など、スポーツを通じてだれもが健康で生き生きと楽しく生活できる取組を充実していきます。 ・ スポーツを通じた地域のコミュニティ醸成とともに、区内外の人にとって「まちの魅力向上」につながる取組を充実していきます。 	ア スポーツを通じた仲間づくり イ プロスポーツ等団体との連携・協力 ウ レガシーの継承と活用 エ 人材・組織（町会・地域クラブ）との連携・協働 オ スポーツの魅力を感じてもらう機会の充実